

平成 27 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「次世代リーダー養成コース」実施報告書（2）

特定非営利活動法人ちば里山センター

| | |
|-----|--|
| 題名 | ちば里山カレッジ「次世代リーダー養成コース」 第2回フィールド研修&活動体験「生物多様性を主目的とする里山活動」 「里山におけるセラピープログラムの体験」 |
| 日時 | 平成 27 年 11 月 14 日（土） 8:00～17:00 |
| 会場 | 研修フィールド： 君津市豊英島 ちば千年の森をつくる会 清和県民の森 千葉県森林インストラクター会 |
| 出席者 | 受講生 51 名（欠席 7 名）・主催者 2 名・スタッフ 1 名 君津市豊英島 ちば千年の森をつくる会「生物多様性を主目的とする里山活動」 講師 代表 久我 哲也、アシスタント講師 真鍋 昌義、坂本 文雄 清和県民の森 千葉県森林インストラクター会 「里山におけるセラピープログラムの体験」 講師 小池 英憲、野村 昭夫 |
| 報告 | <p>8:00 千葉NTT前集合・出発</p> <p>9:45～11:30 ちば千年の森をつくる会「生物多様性を主目的とする里山活動」君津市豊英島 豊英島は 1969 年に完成した豊英ダムでできた湖に浮かぶ島で、島への通行は吊り橋を利用し、「ちば千年の森をつくる会」活動以外には立ち入りが禁止されているため、多様な樹木、生物の宝庫となっている。</p> <p>フィールド研修では「つくる会」講師陣の先導により観察を行った。モミ、ツガの針葉樹、薪炭材として植樹されたコナラなどの広葉樹、希少種ヒメコマツの育成実験などを視察した。</p> <p>シカ等による食害調査、生息数調査、光環境調査、ヒマコマツの生育実験、コナラの更新実験など実験的研究も継続的に行っている。センサーカメラが捉えたシカの実像には一同感激の声が上がった。調査手法は他の里山でも参考になるという印象を受けた。</p> <p>近隣の里山から孤立した豊英島には多様な生物、多様な樹木が生育している。その実態を明らかにするという目的意識や、学術的にも貴重な調査と保全を続ける活動に触れることができた。</p> <p>13:00～16:00 清和県民の森（千葉県森林インストラクター講師）セラピーハイクとネイチャーゲーム</p> <p>清和県民の森では五感を使った森林浴をすることで健康回復に効果的とされるセラピーコースを設置している。「木のふるさと館」から「大滝」までのセラピーコース片道 1 キロ弱をハイキングした。</p> <p>講師からウリカエデ、ミツバツツジなど樹木の解説を伺いながら、落ち葉と色紙との色合わせのネイチャーゲームを実施した。</p> <p>和みの森では樹木に触れて、樹木との対話、樹木の鼓動を聴くセラピー体験を行った。樹木からジンワリと伝わってくるメッセージに触れることができた。大滝では滑床を歩き、滝に近寄ることで受ける清涼感、滝の音にすがすがしさを感じることもできた。渓谷にかかる橋から全員で発した「ヤッホ」のヤマビコが耳に残り、新鮮だった。</p> <p>和みの森は車いすでも森に入れる木道が整備され、ノーマライゼーションに則した森づくりの可能性も見ることができた。</p> |

添付資料（写真）



豊英島への吊り橋



ヒメコマツの生育実験



広葉樹林を歩く



シイタケ栽培



モミ、ツガの植生を見る



カメラにシカの姿が



コナラ更新実験



講師を囲んで



清和県民の森 野村、小池講師



橋げたからヤマビコを聴く



ネイチャーゲーム



発表しました